



## 私の決意！

---

私は、長野県で生まれ長野県で育ってきた。高校3年のとき、進路に悩んだ。

周りの友達はどんどんと進路をきめていくなか、私はなかなか決めることができなかった。自分自身、何がやりたいのかははっきり分らなかったからだ。でも、ひとつだけ決めていたことがあった。それは、地元を離れて東京に行くということだった。

私は、東京に強い憧れをもっていた。東京には、長野にはないものがある。たくさんの可能性があると思っていたからだ。

そして、ぎりぎりになって、私は嘉悦大学に進学することに決めた。

別れ . . .

---

高校を卒業してからの一ヶ月間は、地元で毎日友達と遊んでいた。その日々は本当に楽しくて、上京をきめたことを何回も後悔した。でも、自分で決めたことだったので、本当に辛かったが私は3月の終わりに家族や友達と離れ、東京に上京した。

憧れの東京に出てきて、一人暮らしを始めるといままでどれだけ家族や友達に支えられてきたのかがわかった。

## 新生活

---

4月から学校が始まった。大学は、自分で授業を組んだり、なんて面倒臭いところなんだろうと思った。しかし、たくさんの楽しい友達ができ家に居るより、学校に行きたいと思うようになった。休日は、一緒に地元から上京してきた友達とたくさん遊びまくった。東京での一人暮らしは辛いこともあるが、楽しいこともたくさんあった。そうして1年生の前半は、新しいことや出会いばかりであつという間に過ぎた。

## 夏休み

---

大学は夏休みになり、私は実家に帰った。少し長い旅行から帰ってきたかのように、地元には家族、友達がいる、やっぱり居心地がよかった。寝る時間もないほど遊んだ。

長い夏休みが終わり、東京に戻った。地元に戻っていた時間が長く、春に上京してきたときのようだった。

## 両立

---

学校も始まり1年生の後半。なにか生活を変えようと、東京に来て初めてアルバイトをすることにした。始めたばかりは、学校との両立が難しく本当に辛い時期もあった。そして学校をおろそかにしてしまうこともあった。

そのころから、なんのために学校に行っているのか、いま学んでいることが本当に必要なのかわからなくなってしまった。そうしてだらだら学校に通い、2年間の大学生活の半分が過ぎた。

## 春休み

---

春休みは、将来のいろんなことを考えた。いまやっていることが無駄なのかと思ったこともあった。だが、頑張っていることに無駄になることなんてないと周りの人に言われ、気づかされた。無駄にしているのは、自分自身だから、無駄にしないように心を入れ替え、頑張ろうと思った。

いま

---

2年生になったいま、私は1年生のときにだらだら過ごしたせいで落してしまった単位をこの残りの学生生活で取りもどせるよう頑張っている。勉強も不思議と楽しいと思えるようになった。学校以外でも、アルバイトや遊びも楽しんでいる。



## 成長

---

東京に上京してきてまだ1年半だが、たくさんの出来事があった。楽しいことより、苦しいことのほうが多かったかもしれない。でも、学校でくだらないことで笑って、悩みを相談できる友達や先生と出会えた。一緒に上京してきた友達とは支えあい、アルバイトでは、お客さんに可愛がってもらい、そして人生の先輩としてたくさんのアドバイスをくれる。

いろいろな人と出会い、いろいろなことがあって、私は少しずつ成長してきていると思う。これからもっと成長していきたいと思う。

大切なもの！

---

東京に来て、人との出会いは素晴らしいと思った。

地元にはないものが東京にはある。そして、東京にはないものが地元にはある。ということも地元を離れて気づいた。

私は、両方大切にしていきたい。